

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	企画部 企画広報課	関連部課名	産業環境部 観光商工課
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	新産業			
蒲郡独自の新産業の創出にむけて、繊維製品の高付加価値化、農産・水産品を活かした地域ブランドの推進、企業の研究開発支援による新商品や技術開発の促進、産学官の共同研究、農商工の連携促進、先端技術を有する先進企業の積極的な誘致などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> ● 蒲郡の地域資源を活かした独自の新産業が発展し、経営基盤の強化・雇用の創出が進められています。 ● 中部のものづくりの地域性を活かし、豊かで活力ある新産業都市となっています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 地域資源を生かした新しい産業づくり

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
産学官連携プロジェクト	1	1	1
アンチエイジングの郷推進プロジェクト	4	4	1
蒲郡市ヘルスケア計画	1	1	1

2 新分野進出事業者への支援

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
創造的事業活動支援事業	0	0	—

3 産学官連携、異業種交流の促進

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
産学官交流サロン等	1	1	1

4 先端技術産業の誘致と集積

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
企業誘致	0	1	1

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
交流サロンの実施回数	目標値	2	2	1	
	実績値	1	1		平成32年度
産学官連携プロジェクト件数	目標値	3	3	2	
	実績値	1	1		平成32年度
ヘルスケア計画関係活動件数	目標値	1	2	2	
	実績値	1	1		平成32年度
創造的事業活動支援事業補助対象事業数累計	目標値	15	15		22
	実績値	14	14		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
交流サロンの実施回数	愛知工科大学と市内企業等による交流を促進し、新産業の芽を育む。
産学官連携プロジェクト件数	愛知工科大学と市内企業等で連携し、技術革新や新商品の開発を行う。
ヘルスケア計画関係活動件数	蒲郡市ヘルスケア計画の推進に関する検討や活動を行う。
創造的事業活動支援事業補助対象事業数累計	技術・ノウハウの研究開発及びその成果までを支援し、地域産業の活性化を図った。

◆指標の分析

<ul style="list-style-type: none"> ・交流サロンを効果的に実施することにより、シーズを市内企業に周知する。 ・交流により、市内企業のニーズを大学が把握し、新規商品開発への支援を行う。 ・新規開発による国、県等の補助金を獲得し、新商品の開発、技術革新による雇用数の増加及び維持を促進する。 ・創造的事業活動支援事業は、平成10年度から平成22年度までの13年間で14件の実績であったが、平成23年度以降は利用なし。制度については平成27年3月31日で廃止。
--

◆今後の方針

<p>施策の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業開拓に向けた資金の確保(国、県などの補助制度の活用) ・市内企業、市外企業の新規プロジェクトの参加促進 ・愛知工科大学の積極的なシーズの開放及び他大学との連携 ・新規プロジェクトの探索(企業ニーズの把握) ・ヘルスケア産業の振興(企業等と連携した実証研究の推進、企業誘致)
--

<p>今後の施策展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知工科大学のほかに他の大学との連携を行うことで、市内企業のニーズへ幅広い対応を図る。 ・平成25年度に策定した「蒲郡市ヘルスケア計画」に基づく産学官連携でのヘルスケアの取り組みを行っていく。また、H27年度中を目標として、基本計画を策定し、ヘルスケア産業のまちづくりの具体化を図る。 ・新エネルギー分野をはじめとした未知の市場の開拓や可能性の模索を行う。
--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	当評価指標の向上が、市内産業の連携に大きく貢献できると考える。経済状況等流動的要素が大きく含まれるが、連携と情報収集が大きなカギである。今一度、産学官連携による新産業創出の可能性について、蒲郡商工会議所をはじめとした関係機関とも連携を図りながら産業界の理解を深めることが重要である。また、昨年度、愛知工科大学とのコンソーシアムを立ち上げており、今後の展開に期待したい。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	国内経済の停滞、産業構造の変化を受け、本市の製造品等出荷額は、微減の状況にある。その中であって、本市の特色ある産業として、眼科用医療機器、自家培養皮膚及び自家培養軟骨製造など特色ある産業が成長している。平成25年度に作成したヘルスケア計画に従い、27年度基本計画の策定を進めており、関連産業の誘致に取り組む。また、柏原町に新たな企業用地確保にも取り組んでいる。新産業の創出のため、蒲郡商工会議所などとの連携を図り、産学官交流ネットワーク会議の活動などを活発にする。